

NY マーケットレポート (2017 年 10 月 10 日)

NY 市場では、米国の主要な経済指標の発表がなく、新規材料に乏しい中、序盤のドル円・クロス円は小動きの展開となった。その後、スペイン・カタルーニャ自治州首相の住民投票に関する議会での演説を控えて、独立に関する警戒感が意識され、リスク回避の動きから安全な通貨とされる円を買う動きが強まった。そして、カタルーニャ自治州政府のプチデモン首相が、投票結果の発効を数週間停止し、対話の期間を設けることを提案したことから、独立を巡る混乱への警戒感が和らぎ、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。特に、ユーロは主要通貨に対して上昇となった。

2017年 10月10日 (火)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.56	112.82	112.51
EUR/JPY	132.43	132.75	132.24
GBP/JPY	148.33	148.43	147.95
AUD/JPY	87.55	87.78	87.32
EUR/USD	1.1766	1.1788	1.1739

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	20823.51	+132.80
ハンセン指数	28490.83	+164.24
上海総合	3382.99	+8.61
豪ASX200	5738.11	-1.15
インドSENSEX	31924.41	+77.52

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	7538.27	+30.38
仏CAC40	5363.65	-2.18
独DAX	12949.25	-27.15

米国主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	22830.68	+69.61
S&P500	2550.64	+5.91
NASDAQ	6587.25	+7.52

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.44	112.47	111.99
EUR/JPY	132.82	132.87	132.25
GBP/JPY	148.49	148.52	147.74
AUD/JPY	87.47	87.51	87.25
EUR/USD	1.1814	1.1826	1.1782

南北米主要株価	終値	前日比
トロント総合	15770.36	+42.04
ボルサ指数	49982.94	-89.00
ボベスパ指数	76897.19	+1170.38

*一部暫定値

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1293.80	+8.80
NY 原油	50.92	+1.34

10/11 経済指標スケジュール

08:30 【オーストラリア】10月ウエストバック消費者信頼感指数
 08:50 【日本】8月機械受注
 15:00 【日本】9月工作機械受注
 16:00 【トルコ】8月経常収支
 20:00 【米国】MBA住宅ローン申請指数
 23:00 【米国】8月JOLT労働調査[求人件数]
 03:00 【米国】FOMC議事録公表[9月19-20日分]

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	1.51%	1.51%
3年債	1.63%	1.65%
5年債	1.95%	1.97%
7年債	2.18%	2.20%
10年債	2.35%	2.37%
30年債	2.89%	2.91%

ドイツ10年債	0.44%	0.44%
英国 10年債	1.36%	1.36%

10/11 主要会議・講演・その他予定

- ・シカゴ連銀総裁 講演
- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・米3年債、10年債入札

NY 市場レポート

22 : 00

IMF2017 年世界経済見通し

- ・「2017 年米 GDP 成長率 2.2%と予測（7 月時点は 2.1%予測）」
- ・「2017 年ユーロ圏 GDP 成長率 2.1%予測（7 月時点は 1.9%予測）」
- ・「2017 年日本 GDP 成長率 1.5%（7 月時点 1.3%）」
- ・「2017 年中国 GDP 成長率 6.8%と予測（7 月時点は 6.7%予測）」

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

10 月の米 IBD/TIPP 景気楽観度指数 50.3（前回 53.4）

指標結果データ

◀ IBD/TIPP 景気楽観度指数 ▶

10 月 ・ 9 月 ・ 8 月 ・ 7 月 ・ 6 月

景気楽観度指数 ・ ・ ・ 50.3 ・ 53.4 ・ 52.5 ・ 50.2 ・ 51.3

半年先の景気先行 ・ 48.7 ・ 51.1 ・ 49.5 ・ 48.4 ・ 51.2

資金繰り見通し ・ ・ 59.5 ・ 62.0 ・ 60.2 ・ 60.0 ・ 57.2

政府の政策信頼度 ・ 42.8 ・ 47.1 ・ 47.3 ・ 42.2 ・ 45.4

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場は、まちまちの結果となった。英 FT100 指数は、住宅建設や銀行株が買われ、全体を押し上げた。一方、独 DAX 指数は、スペイン北東部カタルーニャ自治州の独立問題を巡る懸念が再燃したことが影響し、小幅安となった。



出所 : Bloomberg

0 : 55

《 要人発言 》

トランプ米大統領

- ・「コーカー議員との対立について、税制改革を損なうとは思わない」
- ・「税制改革案、もっと強力にするために調整する」
- ・「ティラーソン国務長官を信頼している」

2 : 45

《 要人発言 》

カタルーニャ州のプチデモン首相～カタルーニャ州議会での演説

- ・「カタルーニャは独立の権利を勝ち取った」
- ・「カタルーニャ人は独立した国家を望む」
- ・「カタルーニャ住民投票結果の数週間停止を提案」
- ・「住民投票結果の一時停止中の対話を呼び掛ける」
- ・「スペインとの協議は、EU が関与すべきだ」

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、中心限月が前日比 1.34 ドル高の 1 バレル＝50.92 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、サウジアラビアが 11 月の原油輸出量を減らすとの報道を受けて、買いが先行した。また、主要産油国による協調減産が継続し、世界的な需給バランスが改善するとの期待が強まったことも押し上げ要因となった。



出所 : Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、米主要企業の 7-9 月期決算の発表を控え、高収益への期待感が高まったことを受けて、主要株価は堅調な動きとなった。その後は上げ幅を縮小する動きとなり、ナスダックは一時マイナス圏まで下落する場面もあった。

ダウ平均株価は、序盤から堅調な動きとなり、一時取引時間中の過去最高値を更新した。その後は上値の重い動きが続いた。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表がないことから、新規材料に乏しく、ドル円・クロス円は序盤から小動きの展開となった。しかし、カタール・ニヤ自治州の独立を巡る混乱への警戒感から、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は一時下落した。ただ、その後は、値を戻す動きとなった。



出所：Bloomberg

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。